

依頼者 株式会社 フクナガエンジニアリング

 検体名 PPクロス原反 14×14 1600D  
 (フレキシブルコンテナバッグ用)

一般財団法人

**日本食品分析センター**

東京都渋谷区元代々木四丁目52番1号



2016年(平成28年)06月08日 当センターに提出された上記検体について分析試験した結果は次のとおりです。

### 分析試験結果

分析試験項目	結果	定量下限	注	方法
器具及び容器包装規格試験(合成樹脂)	.....	.....	1	.....
一般規格	.....	.....	.....	.....
材質試験	.....	.....	.....	.....
カドミウム及び鉛	.....	.....	.....	.....
カドミウム	適	.....	.....	.....
鉛	適	.....	.....	.....
溶出試験	.....	.....	2	.....
重金属	適	.....	.....	.....
過マンガン酸カリウム消費量	適(0.5 µg/ml以下)	.....	.....	.....
個別規格(ホリフピレン)	.....	.....	.....	.....
溶出試験	.....	.....	2	.....
蒸発残留物(水)	適(5 µg/ml以下)	.....	.....	.....

注1. 食品、添加物等の規格基準(昭和34年厚生省告示第370号)の第3のDの2合成樹脂製の器具又は容器包装。区分:使用温度, 100℃以下

 注2. 溶出割合:みかけの表面積1cm<sup>2</sup> 当たり2ml

以上